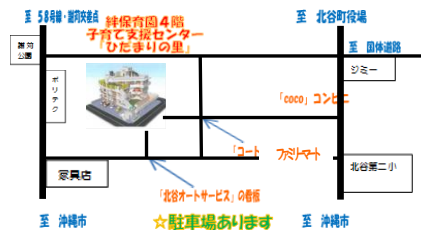




社会福祉法人温和会
理事長 阿嘉よね子
所在地：北谷町吉原716-2
(絆保育園4F)
☎：098-926-3600
098-989-7844
(支援センター直通)



≪「ひだまりの里」利用時間≫
☆月～金(午前) 9:30～11:30
☆ (午後) 13:00～15:00
☆土 曜 日 9:30～11:30
☆園庭開放 15:00～16:00

梅雨本番 雨が降ったり晴天になったりと体調を崩しやすいこの時期。やりたいことが思い切り出来ず、モヤモヤすることもあるでしょう。雨の日も晴れの日も支援センターは大歓迎です。気軽にあそびに来てください。今月もみんなに会えることを楽しみにしています。



支援センターの利用の仕方



1. 飲食について

昼食時間はありません。施設内で物を食べることは原則できません。
水分補給は可能ですので、ご自身でご準備下さい。(麦茶の設置はありません)
*利用時間前後に、清掃・消毒を行います。

2. 利用時に、健康チェック他を行います。

利用者は全員、検温を行います。簡単な問診チェックもお願いします。

3. 利用人数

1日午前5組、午後5組です。
*キャンセルや変更の連絡は早めをお願いします。

4. 園庭開放について

絆保育園の園庭を利用できます。
土曜日 15:00～16:00 に利用可能です。
事前に予約をお願いします。(予約時間：月～金 10:00～16:00)

5. 予約について

材料の必要なイベントや土曜日は予約が必要です。
ご協力よろしくお願いします。

6. 駐車場から外階段又は、絆保育園2階をご利用ください。

☆来所前にお電話いただけるとスムーズにご利用いただけます。

父の日製作 6/12日(水)・13日(木)

午前午後共に各3組まで **要予約**
「ぶじかえる・交通安全お守り」
作りを一緒にやりましょう!!
※可愛いわが子の写真を持ってきてね♥



感触あそび(寒天あそび)

6/21日(金)10:00～11:00

色のついた寒天を触ったり
つぶしたり…遊んでみましょう。
寒天なので間違っても口に入れても大丈夫!!



乗馬えさやり体験 6/11日(火)・25日(火)

10:30～11:00 **要予約**

場所：桃原西公園(ひだまり認定こども園近く)

持ち物：人参(乱切りにカットしたのをご準備下さい。)

「馬とのふれあい」は生き物への関心を高めるだけではなく、喜びと笑顔あふれる情緒豊かにする活動です。子どもに慣れている、やさしいお馬さん達です。愛らしいお馬さん達に癒されましょう
*状況により変更・中止の際はご理解下さい。

～保育参観へ見学に来ませんか～

- 日時 令和6年6月15日(土) 10時～11時半まで絆保育園にて保育参観があります。
日常の保育をご覧になれる機会なので良かったら参観してみませんか!?



1	土	園庭開放
2	日	休 園
3	月	親子交流
4	火	親子交流
5	水	読み聞かせ
6	木	身体測定
7	金	親子クッキング
8	土	親子交流
9	日	休 園
10	月	親子交流
11	火	乗馬体験
12	水	父の日制作
13	木	父の日制作
14	金	親子交流
15	土	保育参観／園内研修
16	日	休 園
17	月	ヤギとのふれあい体験
18	火	親子交流
19	水	読み聞かせ
20	木	給食体験
21	金	感触あそび(寒天あそび)
22	土	園庭開放
23	日	慰霊の日
24	月	親子交流
25	火	乗馬体験
26	水	給食体験
27	木	親子交流／誕生会
28	金	親子交流
29	土	園庭開放
30	日	休 園

日程が変更になることもあります。

☆☆☆ 0.1.2 歳児の… 心も体も満たされる心地よいことば体験 ☆☆☆



～誰かとことばを交わすことが、嬉しくて楽しく喜ばしいと感じるには、幼い頃からの心地よいことば体験が、大きく関わってきます。どんなことば体験がどのように子どもの心を育んでいくのでしょうか？～

◇この時期に大切にしたいことば体験《乳幼児期にどんなことば体験があると、子どものコミュニケーション力が高まるのでしょうか》◇

0歳児の頃【目を合わせて語りかける機会を増やして】

大好きな人の声を聞いて、安心感や心地よさを感じることが大事な時期です。泣いたときに必ず反応をしてもらえることで、自分が大切にされていると感じ、相手に信頼感をもつように。泣いた際は「どうしたのかしら？」と目を合わせ語りかけ、お世話の際は「おむつが濡れて気持ち悪いのね、新しいのに替えようね」など、ことばをかけながら行いましょう。

1歳児の頃【子どもの気持ちを推測し、文章で表して】

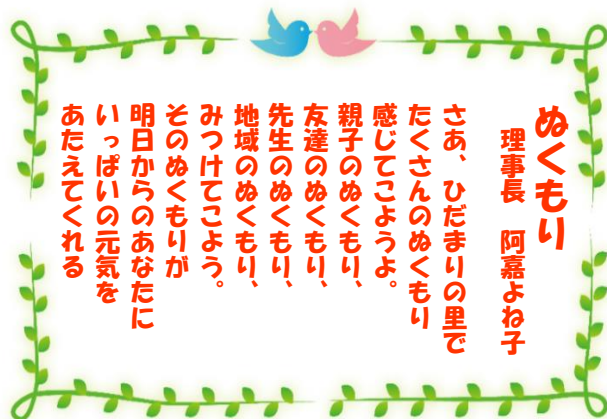
自我が芽生え、ことばではまだ表せないけれども自己主張をするようになり、人との関わりを求めて、指をさしたり一語文で思いを伝え始めたりします。子どもが何を伝えたいのか、表情や動作からそれを読み取り、「お腹がすいたからまんまなのね」「わんわんが好きなのね」など推測して文章化することが、ことばの発達を促すことになります。

2歳児の頃【思いが伝わる嬉しさから話す意欲がUP】

感情や動作を表す語彙もますます増え、1歳の終わりごろから二語文を話すように。記憶力やイマジネーションもさらに発達し、過去の経験やイメージしたことを誰かと共有したがります。伝わりにくいところは足りないことばを補ったり、イメージしたことが伝わっているとわかるように、葉っぱを受け取り「おせんべいありがとう！」などと話したりします。伝わる嬉しさを感じると、話す意欲も増していきます。

心とことばを育む子どもと大人の「聞く力」 現代社会は、日常的にたくさんの機会音にさらされ、人のことばを「聞く力」を育みにくい環境にあります。「ごはんにしましょうね」「とりさんが鳴いているね」といった語り掛けが、つけっ放しのテレビ音に交じって聞こえてきたりします。子どものことばの発達において大切にすべきは「聞く力」です。それは、子どもだけでなく、大人が子どもの思いを「聞く力」も含まれています。生まれたばかりのあかちゃんは、視力よりも聴力が発達しており、全身を耳にして音を聞いています。授乳でお腹が満たされたときに「たくさん飲めたわね」とやさしく響く声に心地よさを感じたり、不安になって泣いたときに「どうしたのかしら？」と抱き上げられて安心したりします。そうした繰り返から、いつも世話をしてくれる保護者や保育者の声を覚え、語りかけられると喜びに満たされるようになるのです。まさに愛着の形成です。ことばは、一方的に語りかけるのではなく、心を通い合わせる事が大切です。まだことばで話せない時期の子どもであれば、その心の声を聞いて、わかろうとすることが重要です。耳を傾けて聞くことは、語ることよりもはるかに偉大な愛のあかしなのです。

保育誌 PriPri 2022 5月号より



「ひだまりの里」の目的

子育て支援センター「ひだまりの里」は、妊娠中の方から子育て真っ最中のお母さん、お父さん、家族の方々が安心して楽しく子育てができるように支援する施設です。ご希望の方はどなたでもご利用できます。小さなお孫さんの世話をしている祖父母の方々もどうぞお気軽にお越しください。お母さんの笑顔は子育ての源。「すばらしい源」を共に作りませんか。お待ちしております。

「ひだまりの里」の保育料は？

子育て支援センター「ひだまりの里」は、国、県、町から認可をいただいて運営しておりまして、個人経営ではありません。どなたでも（町外の方も）**無料**でご利用できます。予約は必要ありません。（行事申し込みはお願いします）***しばらくの間は完全予約制になっています。**行政の指導の下に、運営が成り立っております。

～ひとりで悩まないで～

○子どもと向き合うことが、こんなにたのしいなんて！
○子どもの排泄の自立（紙おむつの外し方）
○食事面で悩んでいたのが、こんなに簡単に解決できるなんて！
○親子でたくさんの友達をつくろう
○子育てのストレスは親の成長だったんだということを知って、心が明るくなった
子育て支援センターひだまりの里を心のよりどころに。